

とるべきポジション

世界保健機関(WHO)は、リハビリテーションを「自らの環境との関連における個人の健康状態における障害を軽減し、最適な生活機能をデザインするための介入のセット」と理解している(WHO, 2017)。作業療法は、広範で多様なリハビリテーションサービスを提供し、すべての年齢、集団やコミュニティに対して、日常生活への完全な参加と社会における完全なインクルージョンを可能にする。それは、家庭、教育、職場、レジャー環境において可能にする。能力と参加状況との間のミスマッチを経験する人々は、リハビリテーションサービスから利益を得ることができる。

WFOTは協働的可能化(collaborative enabling)プロセスとして、リハビリテーションを理解しており、これは基本的人権としての社会における完全で効果的な参加とインクルージョンである(UN, 2006)と認識している。再可能化(reablement)に焦点を当てたリハビリテーションと作業療法へのアクセスは、基本的人権である。リハビリテーションは、当事者が生活し、愛し、働き、遊ぶ場所での意味のある人生を送るための優先事項と目標を特定する上での個人、コミュニティ、社会の選択であると認識している。

ポジションの重要性あるいは作業療法にとってのテーマ

作業療法は、パーソン/クライアント中心アプローチを採用し、これは作業に焦点を当てたもので、作業遂行と作業との結び付きを含む。作業療法は、人と作業(日常生活の活動)と環境、あるいはこれらの、組み合わせの側面を変化させたり、参加を拡大したりするために人々ができるようになることに焦点を当てたり、そのための資源である。この能力(competence)は作業療法をリハビリテーションにおいて独自性のある中心となる専門職として位置付ける。作業療法は、健康関連の範囲にとどまらず、教育、労働、社会開発を含む多くの機関で行われ、実際に意味のある作業に人々が結び付くことをサポートするという貢献をしている分野がある。

作業療法が、リハビリテーションにおいて重要な役割をもつのは、次の点である。

- 人権としてのリハビリテーションの理解
- パーソン中心アプローチ
- 人と家族とコミュニティ、環境、作業との間の複雑な相互関連性の理解における熟練さ
- 作業との結び付きと完全参加を中心的目標とすること
- 社会のための高い費用対効果

社会に対するポジションの重要性

WFOTは、非感染性疾患の罹患率が増え、寿命の延びており、リハビリテーションの需要が高まっていると認識している。WHOによると、多くの国でのリハビリテーションは、住民ニーズを充足していないという(WHO, 2017)。WFOTは世界中の人々が作業療法リハビリテーションサービスを利用できないことに着目し、人権としてのリハビリテーションのための平等な機会を主張する。国連の持続可能な開発目標3「すべての人に健康と福祉を」におけるリハビリテーションの潜在的な貢献を考えると、世界的な協同行動が重要なときに、この文書が発表されたことになる(WHO, 2017)。

作業療法リハビリテーションは、人や集団やコミュニティが、当事者にとっての作業に、十分に、参加し、楽しみ、人生を生きるための中心となる。個人が自分の潜在力を最大化し、社会に参加する機会を、経費を効果的に使い生産的でありながら、健康を増進する。作業療法士は、活動的な市民と社会参加を促進することにより、コミュニティの利益のために働くことができる。持続可能性のレンズを通して、ヘルスケアシステムの持続可能性と効果と同様に環境への影響を考慮することにより、最大の利益が拡大する。

結論

すべての人々、集団、コミュニティは自身の生活に十分に結び付き、社会に参加する権利を持っている。作業療法士は完全な参加とインクルージョンをサポートし促進するためのリハビリテーションを提供する専門性をもっている。

文献

World Health Organization (2017). Rehabilitation 2030: a call for action. Meeting

<https://www.wfot.org/resources/occupational-therapy-and-rehabilitation>

(2020年5月2日 吉川ひろみ・訳)

report. Geneva: World health Organization.

<https://www.who.int/disabilities/care/rehab-2030/en/>

UN General Assembly, Convention on the Rights of Persons with Disabilities: resolution / adopted by the general Assembly, 24 January 2007, A/RES/61/106 <https://www.refworld.org/docid/45f973632.html>

Bibliography

World Federation of Occupational Therapists Position Statements available at www.wfot.org :

- Community Based Rehabilitation (2004)
- Human Rights (2006)
- Vocational Rehabilitation (2012)
- Activities of Daily Living (CM 2012)
- Environmental Sustainability, Sustainable Practice within Occupational Therapy (2012)
- Scope and Extension of Practice (2014)
- Statement on Occupational Therapy (2010)

Contributors (listed in alphabetical order)

Helen Buchanan (South Africa)

Lori Cyr (Canada)

Nil Erik Ness (Norway)